

広報いちのせき chinoseki I-Style

Stylish & Smiling, Anytime, Anything, By Your Side, With Your Life
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

2.15

February
2013 No.178



「北の砦」が完成 新一関北消防署

COVER ★ 一関北消防署
撮影日 2月5日 場所 大東町渋民



1 一関北消防署新庁舎外観 / 2 新庁舎で業務に励む署員。新庁舎は、消防団、婦人消防協力隊や自主防災組織との連絡調整にも使用する会議室や個室化した仮眠室を備えるなど執務環境も改善されました。また、太陽光発電設備、LED電灯、空冷ヒートポンプエアコン、パネルヒーターなども備え、人と環境にやさしい庁舎でもあります

一関北消防署（小幡和夫署長、署員20人）の新庁舎が1月16日完成し、2月1日から業務を開始しました。新庁舎の建設は、旧庁舎の老朽化に伴い、市が本年度行ったものです。新しい庁舎は、旧庁舎の東側に建設。敷地面積は約3622平方メートル。建物は鉄筋コンクリート造り平屋建て（耐火建築物）で床面積は約745平方メートル。庁舎と一体化した車庫棟には消防車両など6台を収容します。災害時の活動拠点となる消防庁舎は、耐震性にも優れており、また、190リットルの燃料で約24時間稼働できる自家発電設備もあります。同署の小幡署長は「（新庁舎を）消防防災拠点とし、地域住民の安全と安心を確保していく」と語り、船山竜治消防士長も「地域住民の生命、財産を守るため、より一層業務に励んでいく」と決意を新たにしていました。

平和で安全な「日常」を脅かす災害は「非常」である。この非常事態を防いだり、収束させたりする活動が防災や減災だ。防災が被害を出さない取り組みであるのに対し、減災はあらかじめ被害の発生を想定した上で、被害を低減させる活動だ。

当たり前でないことを「非日常」という。災害は規模が大きくなければなるほど、日常を取り戻すための時間はかかる。その間、被災した人たちは、避難所などで「非日常」な暮らしをしなければならぬ。日常を奪う非常事態を収束させ、非日常を乗り越え日常を取り戻す「復興のサイクル」を考えながら、災害に強いまちづくりと、安心・安全なコミュニティづくりについて考える。

日常→非常

「6・14岩手・宮城内陸地震」と「3・11東日本大震災」。2つの大地震は、従来の安全の常識を次々と覆し、本市に甚大な被害をもたらした。

地震発生から数日間は、ライフラインが寸断され、電気も水道も電話も使えない状態が続いた。食料や燃料も不足した。そんな「何もかも使えない」不便な中で、いつ復旧するのかわからない「不安」の中で、多くの市民は目の前の現実を受け止め、冷静に行動した。それが一関の人たちの姿だった。平和で安全な「日常」に対し、災害時を「非常時」と呼ぶ。

防災や減災は、非常時に備えた活動であり、その中心が消防署員や消防団員など消防関係者だ。しかし、同時広域的に発生する大規模災害では、限られた消防力で広い地域を守ったり、多くの人を助けたりするには限界があり、支援の手が届くまでには数日程度、ライフラインの復旧までは1週間以上かかる。

そこで、注目されているのが自主防災組織だ。「自らの命は自らが守る」を合言葉に、消防や行政と連携しながら、自分たちで自分たちの命を守る住民組織で、フットワークよく活動できる自治会や町内会などを単位に組織されている。

復興のサイクル

「6・14岩手・宮城内陸地震」と「3・11東日本大震災」。2つの大地震は、従来の安全の常識を次々と覆し、本市に甚大な被害をもたらした。

地震発生から数日間は、ライフラインが寸断され、電気も水道も電話も使えない状態が続いた。食料や燃料も不足した。そんな「何もかも使えない」不便な中で、いつ復旧するのかわからない「不安」の中で、多くの市民は目の前の現実を受け止め、冷静に行動した。それが一関の人たちの姿だった。平和で安全な「日常」に対し、災害時を「非常時」と呼ぶ。

防災や減災は、非常時に備えた活動であり、その中心が消防署員や消防団員など消防関係者だ。しかし、同時広域的に発生する大規模災害では、限られた消防力で広い地域を守ったり、多くの人を助けたりするには限界があり、支援の手が届くまでには数日程度、ライフラインの復旧までは1週間以上かかる。

一関市消防団

大森忠雄団長、団員2,867人

一関市消防団は、1本部8地域本部体制で活動しています。火災、風水害、地震災害などの発生時の対応だけでなく一年を通して予防活動にも力を入れています。さらに、地域密着性、要員・動員力、即時対応力などの特性を生かして、地域コミュニティの維持や振興にも大きな役割を果たしています。



平成25年一関市消防出初式 年頭に誓った「無火災」、安全安心のまちづくりに決意

「平成25年一関市消防出初式」(市主催)は1月20日、市総合防災センター前などで行われ、市消防団員や市婦人消防協力隊員など消防関係者が、火災のない安全・安心のまちづくりに決意を新たにしました。

午前9時から行われた式には、市消防団(大森忠雄団長)、市婦人消防協力隊、市消防本部(平野和彦消防長)から918人、車両35台が参加。市、市議会、県議会などの関係者約100人が見守る中、観閲や分列行進などを行って、今年1年の無火災を誓った。

観閲では消防団員、婦人消防協力隊員

が勝部修市長や市議会議員などから服装、姿勢、礼式などの点検を受けた。分列行進では、大町商店街を威風堂々練り歩き、沿道の市民に防火意識の高揚と火災予防を呼びかけた。

一関文化センターで行われた式典で勝部市長は、昨年の火災発生件数(49件)が1973年から行われている統計上、過去最少だったことに触れ、「地道な消防活動抜きには語れない。火災予防、防災のリーダーとして婦人消防協力隊や自主防災組織との連携を強化し、地域住民の信頼と期待に応えてほしい」と告辞。大森団長は「団員の意識改革、安全管理の徹底、若い団員の確保を目標に、総力を挙げて平成25年

を力強く踏み出していく」と訓示した。

消防団は消防組織法に基づく消防機関。郷土愛にあふれた一般住民による組織だ。火災や災害発生の知らせを受ければ、昼夜を問わず現場に急行し、災害現場の最前線で待たなしの活動を繰り返す。勇気ある行動、冷静で的確な判断は、日ごろの訓練があればこそ。その訓練は規律から操法技術まで多岐にわたり、1年を通して地道な訓練が重ねられている。団員一人一人には、長い歴史の中で脈々と受け継がれてきた崇高な消防精神が宿っている。



1 敬礼する一関市消防団大森忠雄団長 / 2 分列行進する消防団員と婦人消防協力隊員 / 3 式典でかざされる団旗 / 4 式典で起立しステージ上に注目する団員 / 5 分列行進する消防車両



Steps to Revive 復興への道程

非常を防ぎ、非日常を乗り越える

キーワードは「自助」「共助」「公助」

6.14、3.11。一関市は相次ぐ大地震で甚大な被害を受けた。

安全なまち、安心できる暮らしは、全ての人の願いだ。

キーワードは「自助」「共助」「公助」。

全市民の総力を結集して「防災」と「減災」を目指す。

非常 ↓ 非日常

2つの大きな災害で浮き彫りになったことは、助かるためのスキルだけでは足りないということ。つまり、助かった後、今度は生き延びるためのスキルが必要になるということだ。

被害が大きければ大きいほど避難者は増える。長期戦になる。水、食料、物資の備蓄、避難所の確保と運営、医療やケアの充足など、次から次へと課題が押し寄せてくる。

これまでの避難や救助に重点を置いた訓練に加え、避難所生活とそ

消防防災力を培うために
演習、訓練は欠かせない

の支援など、災害発生後の対応に重点を置いた「備え」が重要になってくる。日常と異なる避難所生活は「非日常」であり、何もかもが「不便」になる。食料や物資が不足すれば「不満」が募り、停電や断水が続けば「不安」になる。2、3日なら我慢できることも、これが長期戦になれば、耐え難いものになってくる。どうやって「不便」を取り除くかがカギになる。

非日常 ↓ 日常

1日も早く日常を取り戻すために大事なことは、二次災害など新たな災害を起こさないことだ。自然の猛威は止められないが、二次災害は「備え」があれば防ぐことができる。想定外を想定内にするためにも「減災」は最も重要な災害発生時の活動であるといえる。

まずは、「人任せにしない」ことだ。消防や行政に頼るだけでなく、市民一人一人が現実をきちんと理解して、協力し合うこと。みんなの知恵と力を結集し、心を一つにして、支え合い、励まし合い、助け合える仕組みづくりが急務である。

防災の第一歩は、コミュニティの再生だ。日頃から隣近所で、互いの家や家族のことを把握しておくことが重要だ。まずは、最小のコミュニティである家庭、次に隣近所、そして自治会や、身近なところから信頼関係を築いていくことが大事だ。心を一つに進むことが「不便」「不満」「不安」の「不便」を解消することにつながることは言うまでもない。

守られるから「守る」へ—
広がる自主防災の輪、救命の輪

他人を救おうとする思いに満ちた社会が自分を救う。
他人を助ける尊い心(人間愛)が
応急手当の原点。



5

震災や風水害などで、同時に複数の災害が起きたり、傷病者が発生したりしたときは、平常時のように消防車や救急車がすぐに来てくれるとは限らない。自主防災や自主救護が不可欠である。

東日本大震災では、近所や集落の人と助け合うことの大切さが浮き彫りになり、あらためて自主防災組織の必要性がクローズアップされた。尊い生命や大切な財産を自分たちで守るための仕組みと助け合い、支え合う環境づくりが強く求められている。

傷病者の命を救い、できるだけ後遺症

なく社会復帰させるために大事なことは素早い応急手当。バイスタンダー（近くに居合わせた人）が迅速で適切な手当を行うことが救命のカギを握ると言っても過言ではない。自主防災組織をはじめとする地域、団体、職場、学校などが救急救命講習会を実施して、一人でも多くの人々が自信と勇気を持って応急救護できる日常をつくるのが重要だ。小学校、中学校、高校、大学から社会人まで、生涯教育としての一貫した救急救命講習が市全域に広がっていくことが、救命のまちづくりにつながり、地域の絆や災害対応能力の向上にもつな

がっていく。「救急車の到着を待つ」(運命)から「自ら手当をする」(使命)への意識改革こそ、救命率向上の原点。一人一人の意識が、一つ一つの行動がつながって大切な命は救われる。消防行政の取り組みと共に、市民による「自助」、「共助」の取り組みが不可欠だ。災害や事故は、いつ起こるかかわからない。どこで起こるかかわからない。「訓練」の日常化は、非常を防ぎ、非日常を乗り越える有効な手段。災害に強いまちづくりを進める一関に不可欠なプロセスだ。

市消防団室根第1分団 渡邊博久分団長



室根第1分団管内は昨年、無火災でした。本年も警鐘警戒の実施や分団の防火活動に励み、無火災継続を目指します。消防団は新しい団員の力を必要としています。入団はいつでも歓迎します。

1 火災現場に出場する消防車両 / 2 ホース延長する消防団員 / 3 火点に向けて放水する消防団員



最先端の救急医療資器材を積載 一関西消防署 田村町分遣所に高規格救急自動車配備
待ったなしで救命最前線へ

新型の「高規格救急自動車」を導入した市は1月25日、一関西消防署田村町分遣所に配備した。これは、01年に配備した旧車両の更新。

高規格救急車は、救急救命士が行う特定行為(輸液、気道確保)に必要な資器材を積載した救急車で、人工呼吸器、AED(半自動体外式除細動器)、輸液ポンプなどの資器材、消防本部や医療機関との連絡に必要となる通信機器が機能的に配備されている。これらを医師の指示のもと、救

急救命士が使用して心肺機能停止状態の傷病者に特定行為を行う。

車両はトヨタハイエース。車内で立ったままの作業が多いため、屋根部分をかさ上げして十分なスペースを確保。また、ストレッチャーの固定部には防振装置がついており、傷病者に苦痛を与えない配慮がされている。赤色灯・ライトなどにはLEDを使用。車体左右にもLEDの作業灯を備え、夜間時の隊員の活動や傷病者の安全確保を図っている。

1 高規格救急自動車と一関西消防署救急隊員 / 2 AEDのほか心電図、脈拍、血中酸素濃度や血圧などを測定する監視装置なども搭載されている / 3 キャビン内部を後方から臨む / 4 上空からの視認性を高めるため補助警告灯を装備し、分遣所名も記したルーフ



5 初期消火訓練をする関が丘5民区自主防災会の会員たち(昨年10月28日) / 6 7 国際医療福祉専門学校一関校の学生らの指導で、心肺蘇生を学ぶ一関学院高の生徒たち(昨年7月24日) / 8 9 イオンスーパーセンター一関店と国際医療福祉専門学校一関校が主催する救命講習会では多くの買い物客らが講習を受けた(1月20日、同店内にて)。2月以降も毎月1回開かれる





市政情報番組の紹介

市内で行われるその日の公民館行事、催事、イベントを紹介しします。夕方の放送では翌日の催事・イベントなどを紹介しします	
番組番組名	DAILY I-Style (デイリー・アイ・スタイル) 朝、夕方のシティインフォメーション
放送日	毎週月曜～金曜日
放送時間	朝 7:00～7:30 昼 14:00～14:30 夕方 18:20～18:30

前日までに届け出のあった出生・婚姻・死亡の情報を放送しします	
放送番組名	DAILY I-Style (デイリー・アイ・スタイル)
放送日	毎週月曜～金曜日
放送時間	朝 7:00～7:30 昼 14:00～14:30

勝部修市長が生出演し、市民へのメッセージや市役所の仕事などを紹介しします	
放送番組名	夕方のシティインフォメーション
放送日	隔週 金曜日
放送時間	夕方 18:20～18:30

市内小中学校の校歌を児童生徒の声に乗せてお届けします。また、児童生徒へインタビューし、学校運営や話題を紹介しします	
放送番組名	DAILY I-Style (デイリー・アイ・スタイル)
放送日	校歌紹介 毎週火曜日 学校訪問 毎週金曜日
放送時間	朝 7:00～7:30 昼 14:00～14:30

翌日の各地区ごとのごみ収集内容を紹介します	
放送番組名	夕方のシティインフォメーション
放送日	毎週月曜～金曜日
放送時間	夕方 18:20～18:30

コミュニティFMに関する問い合わせは

相談内容	問い合わせ先
市政情報番組の内容 中継局整備・外部アンテナ	本庁市政情報課 ☎② 8633
ラジオの性能・ラジオが聞こえない 難聴エリアについて	一関ラジオサポートセンター ☎0800・800・4918 (平日9:00～17:00)
その他番組の内容	一関コミュニティFM株式会社 ☎④ 3651

場合に工事の対象となります。各世帯への工事実施は、2月下旬から、今後、中継局の立地予定がない地域から順次行っています。

**ラジオに関する相談は
ラジオサポートセンターへ**

ラジオサポートセンターは、(株)千厩マランツ内にあります。▼ラジオに関する問い合わせへの対応▼FMあすも専用ラジオ

オの修理▼難聴エリアの電波状況の調査などが業務です。2012年4月の開設以来、同センターへの問い合わせは約1700件。このうち、「電波状況が悪い」などの理由から個別調査を実施したのは約800件です。市内における難聴エリアがほぼ特定されてきたことから、今後は、個別世帯の調査を重点的に行い、外部アンテナ工事が必要な世帯の割り出しを行います。

私が皆さんからの問い合わせに対応しています

オペレーター
足利宣明さん あしかがのぶあき



FMあすも専用ラジオの使い方、電池の消耗が激しい、雑音が入るなど、気になることは連絡してください。調査の必要があれば、訪問日程を調整します。

私たちが市内全域を回って電波を調査しています

訪問スタッフ
菅原順司さん すがわら・じゅんじ



難聴エリアを中心に巡回しています。より多くのデータを集めるため、調査は、近隣のお宅の聴取状況を確認させていただくことがあります。

訪問スタッフ
及川功さん おいかわ・いさお

電波が入らないと諦めているお宅でも、調査して、簡易アンテナを設置すると聴取状況が改善される場合があります。まずは調査してみましょう。



市は、市内全域で一関コミュニティFMが聴取できるよう中継局の整備などを進めています。第2期工事では昨年11月に東山中継局を、12月に千厩中継局を整備しました。受信状況などを調査し、引き続き新たな中継局の整備を進めます。しかし、中継局を整備しても聴取できない地域が発生することから、対象世帯を特定し、外部アンテナ工事を実施します。

FMあすも専用ラジオ本体の付属アンテナまたは簡易アンテナを接続した状態でも受信できないと判断される場合、市が設置するラジオサポートセンターが各世帯を訪問し、屋外と屋内の受信状況を確認します。その結果、外部アンテナの設置が必要と判断される

中継局整備と併せて外部アンテナ設置を

一関コミュニティFMの受信エリア

- 2012年12月末現在の可聴エリア
 - 2013年3月までに拡張予定のエリア
- ①石蔵山 ②室根山 ③花泉 ④東山 ⑤千厩 現在の中継局



市広報1月15月号で第3期工事について掲載しましたが、「東山中継局」「千厩中継局」の電波状況を調査した結果、次のことから中継局整備は2カ所とし、その他の地域は外部アンテナで対応することになりました。

- ①室根山中継局の北向きの送信アンテナを出力を2Wから4Wに増強し、出力します。
- ②室根山中継局から南向きに送信アンテナを増設し、4Wで出力します。
- ③千厩中継局のアンテナから発射する電波の方向を川崎町方面へ変更します。

FMあすもを良好な状態で聴取できるようバックアップします

ラジオサポートセンターを統括する
株式会社千厩マランツ取締役兼第一製造部長 千葉美明さん ちば・よしあき



皆さんから寄せられる質問の多くはラジオの電池についてです。市内全戸、事業所に配布したFMあすも専用ラジオは、市販のものと同じ、電源スイッチを切った状態でも市が発信する緊急情報を受信できるよう常時、待機状態になっています。電池だけだと48時間程度しかもちません。必ず家庭用電源

につないでください。

FMあすもは、皆さんの大事な情報源です。私たちの役割は、皆さんの自宅に確実に放送が届くようサポートすることです。専用ラジオが壊れた場合や、受信状況が悪い場合はすぐに連絡してください。1週間以内をめどに専門スタッフが伺います。

受信率100%を目指して
聴取状況の改善を行います

職員の給与などを公表します

一関市では、市民サービスの向上を目指して1472人（平成24年4月1日現在）の職員が各分野で働いています。地方公務員の給与や定員管理状況の透明性を高め、住民の皆さんの理解と納得が得られるよう、支給される給与などをお知らせします。

職員数など

定員適正化計画と進捗状況(各年4月1日現在)

市は、計画的に適正な職員数となるよう定員適正化計画を定めています。今後も組織機構の見直し、業務の集約、委託などを進め、計画を推進します。

区分	17年度(合併時)	22年度	23年度	24年度
減員数(計画)	—	—	△47人	△8人
職員数(計画)	1,576人	1,556人	1,509人	1,501人
実績	1,576人	1,556人	1,509人	1,472人

※22・23年度は、一関市と藤沢町の職員数の合算値

年齢別職員数(24年4月1日現在)

区分	20歳以下	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	9人	45人	49人	72人	155人	246人	176人	118人	164人	220人	217人	0人	1,471人

※教育長を除く人数

一般行政職の級別職員数(24年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
職名	主事技師	主事技師	係長主任主事主任技師	課長補佐係長	課長課長補佐	部次長支所次長課長	部長支所長	
職員数	38人	77人	373人	150人	68人	30人	18人	754人
構成比	5%	10.2%	49.5%	19.9%	9%	4%	2.4%	100%

※消防職、技能労務職、公営企業の職員などを除く人数

職員給与などの状況

人件費(23年度普通会計決算)

住民基本台帳人口(24年3月31日現在)	12万7531人
歳出額(A)	720億3,867万6千円
実質収支	32億655万8千円
人件費(B)	117億8,126万2千円
人件費率(B/A)	16.4%

平均給料月額と平均年齢(24年給与実態調査)

区分	一関市	岩手県	国
一般行政職	平均給料月額 33万1,979円 平均年齢 45歳1カ月	33万8,205円 43歳6カ月	30万4,944円 42歳8カ月
消防職	平均給料月額 30万5,685円 平均年齢 39歳8カ月	32万5,606円 39歳10カ月	29万7,622円 41歳2カ月
技能労務職	平均給料月額 30万6,292円 平均年齢 47歳7カ月	32万2,032円 49歳0カ月	27万465円 49歳7カ月

職種別・学歴別初任給および経験年数別平均給料月額(24年4月1日現在)

区分	初任給	採用2年経過日給料	10年経験年数	15年経験年数	20年経験年数	
一般行政職	大卒	17万2,200円	18万4,200円	25万2,600円	29万9,436円	33万3,880円
	高卒	14万100円	14万8,500円	21万5,700円	26万2,500円	30万3,233円
消防職	高卒	15万8,100円	17万300円	23万3,900円	26万8,175円	31万2,711円
技能労務職	高卒	13万7,200円	14万5,500円	—	—	27万2,850円

特別職の報酬など(24年4月1日現在)

市長や副市長の給料と市議会議員の議員報酬は、市内の公共的団体の代表者などで構成する特別職報酬等審議会の意見を聴き、市議会の議決を経て決められています。

区分	月額	期末手当	退職手当	
給料	市長	86万4千円	(24年度の支給割合) 6月期 1.4カ月分 12月期 1.55カ月分 計 2.95カ月分	給料月額×0.425 在職月数×0.245
	副市長	69万8千円		
報酬	議長	43万8千円	—	—
	副議長	38万6千円		
議員	36万円			

職員給与費(24年度普通会計当初予算)

職員数(A)	1,287人	
給与費	給料	50億1,593万2千円
	職員手当	26億7,054万4千円
計(B)	76億8,647万6千円	
1人当たりの給与費(B/A)	597万2千円	

※職員手当に退職手当は含まない

主な職員手当の状況

区分	内容(24年度・額はすべて月額)
扶養手当	①配偶者…1万3,000円 ②配偶者以外の扶養親族…6,500円 配偶者のいない場合の1人目…1万1,000円 ※なお、16～22歳までの子の場合には5,000円を加算
住居手当	①借家・借間居住者…1万2,000円を超える家賃を負担している職員に対し、家賃の額に応じて2万7,000円まで ②配偶者が借家・借間に居住している単身赴任者…①の2分の1の額
通勤手当	①交通機関等利用者…運賃などに応じ5万5,000円まで ②自家用車等利用者…通勤距離に応じ3万5,000円まで

区分	内容(23年度)
時間外勤務手当	正規の勤務時間外に勤務した職員に支給されます。 ◇支給総額…5億7,366万3,000円 ◇職員一人当たり平均支給年額…43万2,000円
特殊勤務手当	著しく危険、不快、不健康または困難な業務に従事する職員に支給されます。 ◇職員全体に占める手当支給職員の割合…17.0% ◇支給対象職員一人当たり平均支給年額…18万3,000円 ◇手当の種類(24年4月1日現在)…14種類 ◇支給額の多い手当…医師手当 ◇多くの職員に支給されている手当…災害応急作業等手当

区分	内容(24年度)		
期末・勤勉手当	◇支給割合		
	区分	期末手当	勤勉手当
	6月期	1.225カ月分	0.675カ月分
	12月期	1.375カ月分	0.675カ月分
	◇職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり ※一般行政職の加算率 3級…5% 4・5級…10% 6・7級…15% ◇一人当たり平均支給年額(23年度)…136万2,000円		
退職手当	退職時の給料月額に、下の表に示すような支給率を乗じた額となります。支給率は、国と同じです。		
	◇支給率		
	区分	自己都合	勲奨・定年
	勤続20年	23.50カ月分	30.55カ月分
	勤続25年 33.50カ月分 41.34カ月分 勤続35年 47.50カ月分 59.28カ月分 最高限度 59.28カ月分 59.28カ月分		
	※そのほか、定年前早期退職者特例措置(2～20%の割り増し加算)あり		
	一人当たり平均支給額	689万1000円	2429万7000円
	※前年度に退職した全ての職種に係る職員に支給された平均額		

研修の実施状況(23年度)

職員の勤務能率の発揮および増進のため、人材育成基本方針に基づき研修を行いました。

区分	独自研修	派遣研修	自己啓発	計
受講延べ人数	805人	98人	53人	956人

▷独自研修は、新採用職員研修▷派遣研修は、自治大学校▷自己啓発は、通信教育一など

福利厚生

職員の健康診断を実施し、健康管理を行っています。また、岩手県市町村職員共済組合と岩手県市町村職員互助会に加入し、福利厚生事業を行っています。

分限・懲戒処分状況(23年度)

分限処分	休職	降任	免職	計	
	21人	—	—	21人	
懲戒処分	戒告	減給	停職	免職	計
	7人	—	—	—	7人

▷分限処分は、病気などで職務が十分に果たせない場合など、公務能率を維持するために行う処分

▷懲戒処分は、服務義務違反に対して公務員の秩序を維持するために道義的責任を追及し科する処分

勤務時間、勤務条件

勤務時間は、休憩時間を除き1日7時間45分、1週間で38時間45分です。一般的な職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分まで。交代制勤務職員などは別に定めています。休暇は、有給休暇と無給休暇の2種類です。有給休暇は、年次休暇、病気休暇、特別休暇。無給休暇は、介護休暇などです。

職員採用試験の状況(23年度)

区分	第1次試験			第2次試験		
	申込者	受験者	合格者	受験者	合格者	
上級	一般事務	74人	58人	17人	14人	7人
	司書	28人	23人	3人	3人	1人
	保健師	8人	7人	4人	3人	1人
	建築技師	1人	1人	1人	1人	1人
	学芸員	29人	23人	5人	4人	1人
中級	保育士・幼稚園教諭	49人	48人	12人	12人	5人
	看護師	3人	3人	2人	2人	1人
	理学療法士	1人	1人	1人	1人	1人
初級	一般事務	43人	40人	14人	11人	7人
	土木技師	8人	7人	6人	6人	33人
消防	81人	70人	27人	26人	13人	
合計	325人	281人	92人	83人	41人	

本庁健康づくり課 ☎②2160
東山支所保健福祉課 ☎④4530

花泉支所保健福祉課 ☎②2216
室根支所保健福祉課 ☎④3805

大東支所保健福祉課 ☎②1211
川崎支所保健福祉課 ☎④4022

千厩支所保健福祉課 ☎③3952
藤沢支所保健福祉課 ☎③5304

平成23年度に策定した「第2次一関市行政改革大綱」に基づく「第2次一関市集中改革プラン」の改革実施項目ごとの具体的な取り組みをシリーズでお伝えします。

■ 3月の乳幼児の健康診査

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	24年11月1～14日生まれ	21㊟	12:45～13:00	一関保健センター
		24年11月15～30日生まれ	22㊟		
	9～10カ月児相談	24年5月1～18日生まれ	21㊟	8:45～9:00	
		24年5月19～31日生まれ	22㊟		
	1歳6カ月児健診	23年8月1～16日生まれ	14㊟	12:45～13:00	
	23年8月17～31日生まれ	15㊟			
2歳6カ月児歯科健診	22年9月1～13日生まれ	14㊟	8:45～9:00		
22年9月14～30日生まれ	15㊟				
3歳児健診	21年9月1～12日生まれ	6㊟	12:45～13:00		
21年9月13～30日生まれ	7㊟				
大東 東山	3～4カ月児健診	24年11月生まれ	13㊟	13:00～13:15	東山保健センター
	9～10カ月児相談	24年5月生まれ	5㊟	9:00～9:15	大東保健センター
	1歳6カ月児健診	23年8月生まれ	6㊟	13:00～13:15	東山保健センター
	2歳6カ月児歯科健診	22年9月生まれ	5㊟		大東保健センター
3歳児健診	21年9月生まれ	12㊟			
千厩 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	24年11月生まれ	19㊟	12:30～12:45	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	24年5月生まれ	12㊟	9:00～9:15	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	23年8月生まれ	14㊟	12:30～12:45	
	2歳6カ月児歯科健診	22年9月生まれ	12㊟	13:00～13:15	
	3歳児健診	21年9月生まれ	13㊟	12:30～12:45	

*受診できない場合は連絡してください ㊟本庁健康づくり課または各支所保健福祉課

■ 4歳・5歳歯科健康診査

19・20年9月生まれの人は3月中に契約歯科医療機関で受診してください。受診券は、対象者に2月末に郵送します。
㊟本庁健康づくり課☎②2160または各支所保健福祉課

■ もぐもぐ離乳食教室(バナナコース)

◇日時 3月5日㊟9:30～12:00(受け付け9:15～)
◇場所 千厩保健センター
◇対象 平成24年6月から10月生まれの子供と保護者
◇内容 栄養士・保健師の講話、調理実習、試食など
◇持ち物 母子健康手帳、らくらく離乳食ガイドブック、エプロン、三角巾、筆記用具など
◇定員 先着親子10組
◇受付期限 2月26日㊟
㊟千厩支所保健福祉課☎③3952

■ すこやか幼児教室

◇日時 3月8日㊟9:30～12:00(受け付け9:15～)
◇場所 一関保健センター
◇対象 9～10カ月相談終了後から1歳6カ月児健康診査前の子供と保護者
◇内容 栄養士・保健師の講話、調理実習、試食など
◇持ち物 母子健康手帳、エプロン、三

角巾、筆記用具など

◇参加費 200円(調理実習費)
◇定員 先着親子12組
◇受付期限 3月1日㊟
㊟本庁健康づくり課☎②2160

■ 精神障がい者家族会交流会公開講座

障がい者を支える家族を対象に生活にまつわるお金の面からライフプラン(生活設計)を考える講演会です。
◇日時 2月21日㊟10:00～12:00
◇場所 一関保健センター
◇講演・講師 障がいを抱える方と家族のライフプラン・岩手県金融広報委員会 金融広報アドバイザー戸田節子氏
◇費用 無料
◇申込期限 2月18日㊟
㊟本庁健康づくり課☎②2160

■ 震災後のこころの健康づくり講演会

東日本大震災後の中長期のこころの健康づくりをテーマに地域で支え合うコミュニティづくりを考えます。
◇日時 3月12日㊟13:30～15:00
◇場所 川崎公民館
◇講師 千葉大学大学院学術研究センターものこころの発達研究センター特任助教高岡昂太氏
◇対象 どなたでも
◇費用 無料
㊟本庁健康づくり課☎②2160

■ 3月のこころの健康相談

心の問題に一人で悩まず、気軽に相談してください。臨床心理士が相談に応じます。

日	受付時間	場所
4㊟	10:00～11:00 13:30～14:30	一関保健センター
11㊟	13:30～14:30	藤沢支所保健福祉課

◇費用 無料
◇申し込み 電話で予約してください
㊟本庁健康づくり課☎②2160、藤沢支所保健福祉課☎③5304

■ 専門医による「こころの健康相談」

◇日時 3月21日㊟13:30～15:30
◇場所 千厩保健センター
◇費用 無料
◇申し込み 電話で予約してください
㊟一関保健所保健課☎②1415、本庁健康づくり課、各支所保健福祉課

■ フリースペースひだまり

ひきこもりで悩んでいる人や家族の交流の場です。
◇日時 3月4日㊟13:30～16:00
◇場所 一関市勤労青少年ホーム
◇費用 無料
◇申し込み 前日までに要予約
㊟一関保健所保健課☎②1415

■ 一関保健所でHIV即日検査

◇日時・場所 3月12日㊟・26日㊟11:00～12:00・一関保健所
◇費用 無料
◇申し込み 原則予約が必要
◇その他 検査結果によっては確認検査があります。クラミジア抗体検査、ウイルス性肝炎抗体検査も行っています
㊟一関保健所保健課☎②1415

■ 3月の労働者の健康相談

50人未満の小規模事業所を対象に専門の医師が健康相談に応じます。電話やファクスでも随時受け付けています。
◇窓口相談日時 ①3月7日②14日・21日・28日いずれも㊟13:00～15:00
◇場所 ①一関商工会議所千厩支所②一関市医師会事務所
㊟岩手県一関地域産業保健センター☎③5110/FAX③9955

重点項目 3 人材育成の推進と組織体制の見直し

①人材育成の推進
職員の意識改革を図りながら、個々の能力を引き出し、市民と共にまちづくりに取り組む人材の育成を推進します。
また、確実な点検などで適正な事務事業の実施や事務処理を行い、市民から信頼される市政の実現に努めます。
【主な取り組み】▷人材育成の推進▷事務執行の公正性の確保など
②組織体制の見直し
ア. 窓口など市民サービスの向上
【主な取り組み】▷市民窓口業務の見直し▷税などの収納体制の充実など
イ. 組織機構の見直し
多様化する市民ニーズや新たな行政課題に的確かつ迅速に対応するため、事務執行体制の見直しに努めます。
【主な取り組み】▷業務執行体制の見直し▷緊急時における体制の整備など

ウ. 定員管理や職員給与の見直し

行政運営の効率化や、民間委託などを推進し、適正な定員管理に努めます。
職員給与は、社会経済情勢などの動向を注視し、引き続き適正化に努めます。
【主な取り組み】▷定員適正化計画の推進▷給与の適正化▷時間外勤務手当の縮減

重点項目 4 健全な財政運営の確保

①経費の節減合理化
事務事業の経費全般を徹底的に見直し、経費の節減合理化に努めます。
【主な取り組み】▷公用車管理運営の適正化▷コピー機の契約と設置台数の見直し▷電話加入回線契約の削減など
②税金などの確保
税や税外収入の課税客体などの的確な把握と収納率の向上に努めます。使用料や手数料などの受益者負担の適正な水準の確保など、各種歳入確保策の取

組みを推進します。
ア. 税などの徴収対策の実施
【主な取り組み】税などの納付方法の多様化の検討など
イ. 使用料・手数料などの見直し
【主な取り組み】公共施設に係る使用料の見直しなど
ウ. その他の歳入確保策
【主な取り組み】▷遊休資産などの売却や有効活用▷宅地分譲地・工業団地の売却促進▷広告掲載事業の実施など
計画の推進と体制
15人の市民で構成する「一関市行財政改革推進審議会」は、継続的な行政改革を推進するため、行政改革実施内容を評価・検証し、改革実施内容の見直すべき事項などの提言をしています。
また、副市長を本部長とする「一関市行財政改革推進本部」を設置し、全庁体制で行政改革を推進しています。
㊟本庁財政課☎②8233

下内野自治会

大東町の「下内野自治会」(勝部欣一会長、39世帯)は、下内野ふれあい会館に太陽光発電システムを整備しました。
有事にも役立つ発電システムに、勝部会長は「山間の集落のため、期待通りに発電できるか様子を見たい。会館を使って活発に自治会活動ができれば」と期待を寄せています。
発電した電気は会館の照明などに使われるほか、売電して会館運営に充てる予定です。



千厩八幡太鼓保存会

千厩町千厩の「千厩八幡太鼓保存会」(村上明会長、会員50人)は、地域イベントなどに参加して活力ある地域づくりをしたと、大小それぞれの太鼓や半てんなどの衣装を購入しました。
同保存会の小野寺安さんは、新しい衣装に袖を通しながら「後継者の育成に努め、今後、さまざまなイベントに積極的に参加していきたい」と元気な地域づくりの推進に意欲を見せていました。



助自治総合センター コミュニティ助成事業

あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。

宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実強化を図るために行われているコミュニティ助成事業。
24年度は3団体がこの助成金を活用し、必要な物品などを整備しました。

大東め組太鼓

大東町の大原公民館を拠点に活動する「大東め組太鼓」(菊池みゆき会長、会員12人)は、今後の活発な活動に期待を込め、長胴太鼓や鉄筒など演奏に必要な楽器を整備しました。
菊池会長は「既存の太鼓を自ら直すなどして大切に使用してきた。これからは新しい太鼓も併せて迫力ある演奏をしたい」と意気込むと共に、地域の子供たちなど新たな会員の加入を呼び掛けています。



募集

求職者支援訓練
介護員養成科の受講生

- ◇日程：3月22日(金)～6月21日(金)9時～15時50分
- ◇場所：一関市職業訓練センター(舞川)
- ◇定員：15人
- ◇訓練内容：ホームヘルパー2級課程取得に必要な講義・演習・施設実習、パソコン基礎実習など
- ◇費用：無料(ただし、テキスト代として1万円)
- ◇対象：原則、雇用保険の未受給者で、訓練受講給付金を受けながら訓練を受けたい人(ただし、雇用保険受給者であっても、受講できる場合があります)
- ◇申し込み：2月25日(日)までに左記へ
- ☎ハローワーク一関☎24135

景観まちづくり表彰の候補者

◇募集対象：【景観部門】地域にふさわしい優れた景観を形成している建築物、工作物などの物件およびこれらが連帯して地域の景観形成に寄与しているもの【まちづくり活動部門】継続的に地域の特性を活かした良好な景観の創出や保全などを行い、景観形成に貢献している活動を主

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン
「笑顔でおもてなし隊」の募集

4月から6月に開かれる仙台・宮城デスティネーションキャンペーンで来訪する観光客などへおもてなしの活動に取り組む団体を募集します。

- ◇募集団体…観光地などで給茶、道案内や清掃活動などを行う▶列車やバスへの手振り運動を行う住民・児童生徒・学生など▶その他、おもてなし活動やサービス活動を実践している一おおむね5人以上の団体※直接的な営利目的の活動(料金に包括されるサービスなどは除く)を行う団体は対象外
- ◇申し込み…3月1日(金)までに下記へ
- ※詳しくは一関市観光ホームページ「いち旅!」<http://www.ichitabi.jp/>をご覧ください
- ☎本庁商業観光課☎28413

催し・講座

健康づくりに関する楽しい催しがいっぱい

【相手方】仙台市内の中学校の生徒150人【内容】田植えなどの農作業体験、宿泊交流など

◇申し込み：2月28日(日)までに左記へ

詳しくは問い合わせください。

【いちのせきニュートリズム協議会事務局内たびれつじ推進協議会☎6007または本庁農政課☎8421

少年スイミングクラブ
体験教室参加者

◇日時：2月24日(日)10時15分～11時30分

◇場所：藤沢B&G海洋センター

◇対象：平成25年4月に小学校に入学する園児

◇費用・定員：無料・先着30人

◇申込期限：2月22日(金)

☎藤沢B&G海洋センター☎5551

第26回「いわい地方
民謡・民舞踊のこころ」

◇日時：2月24日(日)開場10時開演10時30分

◇場所：花泉総合福祉センター

◇内容：いわい地方から53団体が集う「民謡・民舞踊」の祭典

◇入場料：500円(全席自由)

☎一関文化センター☎2121

一関地区法人会が主催する
企業向けセミナー

①「健康セミナー」

◇日時：2月21日(金)15時30分～17時

◇場所：市総合防災センター

◇講師：一関保健所 栄養士

◇費用：無料

②「税務・金融セミナー」

◇日時：2月26日(水)16時～17時45分

◇場所：ペリーノホテル一関

◇講師：川村浩司さん(中小企業診断士)

◇費用・定員：無料・先着50人

☎一関地区法人会☎4243

来て見て・発見
一関おもしろ館のバスツアー

市内特産品業者の製作現場の見学や体験ができる「春休み体験バスツアー」を開催します。

◇日時：3月28日(日)8時30分～16時

◇対象：市内在住の小学4～6年生

◇申込方法：希望するコース、住所、氏名、連絡先を記入して郵送またはファクスで3月5日(木)までに左記へ

◇定員：先着90人

◇費用：一人2500円(昼食代、体験材料費、保険代など)

社会人基礎力向上事業
「市長と話そう」

◇日時：3月12日(水)15時30分～19時

◇場所：ペリーノホテル一関

◇内容：市長講話「社会人基礎力」・交流会(市長への質問コーナーなど)

◇対象：市内事業所に勤務する平成24年3月学卒(大学、短大、専門・専修学校、高専、高校)の新入社員

◇費用：2000円(交流会分)

◇定員：50人

◇申し込み：所定の申込書で3月1日(金)までに左記へファクスで

地場産食材を使った
加工品作りに挑戦

☎本庁労働政策課☎28461 / FAX☎3037

①豆腐加工実習

◇日時：3月6日(水)9時～12時

◇費用：2000円

②塩麴を使った加工実習

◇日時：3月12日(水)9時～12時

◇費用：7000円

【共通事項】

◇場所：一関農村女性の家

◇講師：一関生活研究グループ連絡協議会の皆さん

◇定員：各先着15人

◇申し込み：2月18日(日)9時～左記へ

☎本庁農政課☎28421

野球が好きな女子集まれ
女子小学生野球の練習見学

屋内でテニスボールを使った野球練習をしています。春のグラウンドデビューを目指し一緒に練習しませんか。

◇練習日：3月31日までの毎週(土) *時間は問い合わせください

◇場所：一関市武道館または赤荻学習交流館

◇対象：小学1年～5年の女子(25年度入学者の児童も可)

☎一関ガールズ野球クラブ(大澤)☎080-3194-3240

心を豊かにする
市民手づくりの舞台



第14回一関藤沢市民劇場
保呂羽神社奇譚「白雉子翔んで」

◇日時：2月24日(日)13時30分開場、14時開演

◇場所：藤沢文化センター「縄文ホール」

◇入場料…大人(前売り1,000円、当日1,500円) / 中高生(前売り500円、当日700円) / 小学生以下無料(要整理券)

◇プレイガイド…藤沢公民館ほか藤沢町内プレイガイド

☎藤沢文化センター☎5515 / FAX☎5517

第10回一関千厩市民劇場「どっから座」
黄金の花咲く里～大蛇の恋物語

◇日時：3月10日(日) <1回目> 11時開演 <2回目> 14時開演

◇場所：千厩農村環境改善センター

◇入場料…高校生～一般(前売り・当日ともに1,000円) / 中学生以下無料

☎一関千厩地域市民劇場実行委員会事務局(菅原)☎2168

●お願い…市外に転出する際には、「一関コミュニティFM放送用ラジオ」を転出手続きの際に返却してください。

日本製紙クリネックススタジアム宮城

希望、夢、感動。

ともに、希望を描き、夢を語り、感動する。
そして…復興へ向かい
『ともに、前へ。』

日本製紙株式会社
〒980-0022 仙台市青葉区五輪1-1-10
(第二河北ビル) TEL.022-262-3911(代)

日本製紙クレシア株式会社

4・5月開講 春の入会受付中!

ヤマハ英語教室
Yamaha English School

ヤマハ音楽教室
YAMAHA

各コース体験レッスン実施中

いま無料体験レッスンにご参加いただくと…
ぶっふるのうきうきゆうえんちぶっく(音楽教室)
えいごのうたCD(英語教室) プレゼント!!

入会・体験のお問い合わせ Tel.0191-21-2293

㈱正時堂 一関店 <http://www.shozido.com/>
一関市大手町3-7 林ビル1階(一関文化センター裏)

一関の魅力を表現する
作品を一挙に展示

第55回一関市観光写真コンテスト受賞作品を展示します。
◇期間・場所：▼2月14日(金)～3月6日(水)・一関市役所本庁▼3月7日(木)～3月20日(金)・市街地活性化センター「なのはなプラザ」4階▼3月21日(土)～3月27日(木)・東山地域交流センター▼3月28日(金)～4月3日(水)・大東支所市民課前ホール▼4月4日(木)～4月10日(水)・室根支所玄関ホール▼4月11日(木)～4月17日(水)・千厩支所市民ホール▼4月18日(木)～4月24日(水)・藤沢公民館▼4月25日(木)～5月1日(水)・花泉支所市民課前ホール▼5月2日(木)～5月8日(水)・川崎公民館▼5月9日(木)～5月22日(水)・一ノ関駅東口交流センター
●本庁商業観光課 ☎8413

市街地活性化センター
25年度の利用申し込みは
3月1日から受け付け

4月1日から供用開始する市街地活性化センター「なのはなプラザ」内に入居する施設(一関公民館、シニア活動プラザ、にぎわい創造センター)の利用申し込みを3月1日(金)から受け付けします。
●【一関公民館】一関公民館 ☎2148 / 【シニア活動プラザ】本庁社会福祉課 ☎8370 / 【にぎわい創造センター】本庁商業観光課 ☎8412
※4月1日(金)からは、市街地活性化センターで利用申し込みを受け付けられるよう準備を進めています。電話番号など詳細は改めてお知らせします。



☎080-8204-2909 /
同美術館ホームページ
http://autismmuseum1.jimdo.com/

3月は県民の森で
学んだり遊んだりしよう

◇笑って覚えよう植物の話
◇日時・場所：3月3日(日)9時45分～12時・森林ふれあい学習館
◇費用：無料
◇定員：先着20人
◇持ち物：筆記用具
◇木工教室(ハンガー)
◇日時・場所：3月17日(日)9時15分～15時30分・木材工芸センター
◇費用：2000円(1作品)
◇定員：先着10人
◇持ち物：昼食、軍手、作業可能な服装

登記、相続などの困り事は
法務局なんでも相談所へ
◇日時：3月9日(土)10時～15時
◇場所：盛岡地方法務局一関支局または同法務局本局、各支局
◇内容：登記、相続、戸籍、供託、家庭問題、いじめ、差別問題など困り事全般
◇相談担当者：公証人、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員、法テラス担当者、法務局職員
◇費用：無料
●盛岡地方法務局総務課 ☎019-624-9861

臨床心理士が心配事や
困り事の相談に応じます
日本臨床心理士会東日本大震災心理支援センターが開く無料電話相談です。
◇日時：3月31日までの毎(金)19時～21時
◇内容：震災で被災した人が抱える心配事、悩み事全般
◇相談先電話番号：0120-719-789(フリーダイヤル)
●日本臨床心理士会 ☎03-3817-6801

「消すまでは出ない行かない 離れない」をスローガンに春季火災予防運動が全国一斉に行われます。お互いに声を掛け合い、火事を出さないように気をつけましょう。
◇期間：3月1日(金)～7日(木)
◇住宅防火いのちを守る7つのポイント：▼寝たばこは絶対にしない▼ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使う▼ガスコンロなどのそばから離れるときは必ず火を消す▼逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する▼寝具、衣類やカーテンは防災品を使用する▼住宅

お知らせ

春季全国火災予防運動は
3月1日から

用消火器を設置する▼お年寄りや身体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる
※期間中、各消防署・分署で「消防相談窓口」を開設します。
●市消防本部予防課 ☎5911 または各消防署・分署

国の教育ローンは
早めに手続きを

入学資金の納付日までの期間は比較的短めです。早めに申し込みください。
◇対象：高等学校、短期大学、大学などに入学する人の保護者
◇融資金額：学生・生徒一人につき300万円以内
◇使途：①入学金、授業料など②受験料、交通費など③アパートの敷金、家賃など④教科書代、通学費など

家畜の衛生管理状況などは
毎年報告が必要です

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの防疫対応を強化するため家畜伝染病予防法が改正されました。家畜の所有者は、2月1日現在の飼養する家畜の種類、頭数や衛生管理状況などを所定の報告書に記入して提出する必要があります。
◇提出先：県南家畜保健衛生所、市役所本庁農政課・各支所産業経済課、J・A・農業共済組

車検や登録手続きは
混み合う前にお願ひします

自動車の検査、登録手続き(車検、名義変更、住所変更、廃車など)は毎年3月に集中し、窓口や車検場が混雑します。これらの手続きはできるだけ2月中旬に済ませるようお願いいたします。
◇受付時間：(日)8時45分～12時、13時～16時
●東北運輸局岩手運輸支局 ☎050-554402010【軽自動車】軽自動車検査協会岩手事務所 ☎019-639-8011

vol.4 シリーズ 合併処理浄化槽

11月15日号から5回シリーズで始まった「シリーズ合併処理浄化槽」。4回目の今号は、浄化槽の「家族のみんなが知っておくべきこと」についてお伝えします。

小型合併処理浄化槽は、し尿だけでなく台所、風呂や洗濯などの生活雑排水もいっしょに処理する浄化槽です。それだけにさまざまな性質の汚水を処理する能力が要求されます。

こうした状況を浄化槽を使用する家族のみんなが理解し、浄化槽が機能を十分に発揮できるように協力することが大切です。

●設置したらまず保守点検と清掃の契約を
浄化槽を設置したら、ただちに保守点検業者と保守点検契約を、清掃業者と清掃契約をそれぞれ結んでください。また「岩手県浄化槽検査センター」に浄化槽法に基づく検査(シリーズ vol. 3 参照)を依頼してください。

ちょっとした心づかいが大切です

- ◇台所で気をつけること…▶使った油は、流しなどに流さず、ごみと一緒に出す▶なべや皿のひどい汚れは紙で拭いてから洗う▶三角コーナーには細かいネットをかぶせる
- ◇洗濯する際に気をつけること…▶無りん洗剤を使う▶洗剤や漂白剤は必ず適量を計って使う
- ◇トイレで気をつけること…▶紙おむつ、衛生用品、たばこの吸い殻を流さない▶水溶性のトイレトーパーを使う▶塩酸などの薬品は使わない(普通のトイレ洗剤はOK)
- ◇浄化槽で気をつけること…▶殺虫剤は使わない▶ブロワの電源を絶対に切らない

●本庁下水道課 ☎8584 または各支所水道課

●お願い：2月は固定資産税4期と国民健康保険税8期の納期です。※納期限は2月28日(金)です。納付は口座振替が便利です。一関市納税貯蓄組合連合会

Wedding Dress Fair 2013 婚礼衣裳試着会開催中
幅広いラインナップの新作ドレスが続々入荷! お気に入りの1着に必ず出会えるはず... どうぞお気軽にお越しください
E-mail: bridal.shishido-1@i.softbank.jp
ご相談やさらに詳しい内容はいつでも承ります お気軽にご連絡ください
プライタルセンター
0120-22-6445
0197-233-3531

HDD+新登場! この値段でいいんです!
スタンダードコース HDD内蔵STB 録る・観る・簡単 スマートライフ
「3,570円」+「1,050円」=「4,200円」
スタンダードコース 月々 通常4,620円が + HDD内蔵STB 4,200円
ケーブルテレビ&インターネットの お申し込み・お問い合わせは
岩手日日新聞社グループ ICN 株式会社 一関ケーブルネットワーク
〒021-0871 一関市八幡町1-24 TEL0191-21-1256 FAX0191-21-2959

撮 っ て お き い ち の せ き

Profile No.55 橘城跡公園から望む冬の田園風景（千厩）



撮影データ:NikonD700 AF17-50 F10 1/250秒 スポット測光 ISO200 PhotoshopCS5.1

歴史をひもときながら望む景観

千厩町奥玉の「橘城跡公園」は、標高178メートルの丘陵上に築かれた山城「橘城」跡地にある公園です。眼下に田園地帯が広がり、東には室根山が一望できる景勝地として親しまれています。

「橘城」の築城時期や築城主体は明らかではありませんが、弘仁年間(810～24年)には蝦夷征討のため、征夷大將軍の文屋綿麻呂がこの地に侵攻しました。「紅橘」というこの辺りでは珍しいミカン科の亜熱帯常緑樹種が辺りに植えられたことから「橘城」と呼ばれるようになったといわれています。その後、城主を変えながら、廃城となる1591年までの間、この地の中心となってそびえ立っていたとされています。

訪れたのは、雪が散らつく2月上旬。公園から望む先の田園は白い雪で覆われ、辺りが桜色に色づくまではもう少しかかりそうです。



- 撮影地 橘城跡公園
千厩町奥玉字町下地内
- アクセス 市営バス「二日市」バス停から徒歩3分